

令和元年度第2回宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会議事録

1 開催日時

令和元年11月12日（火） 10時00分～11時30分

2 開催場所

宇土市浦田町5-1 宇土市役所防災棟会議室

3 出席者

（委員）別紙のとおり

（事務局）石本企画部長，宮崎企画課長，三浦企画政策係長，磯部企画政策係主事
担当課の出席者は別紙のとおり

4 議題

（1）開会

（2）会長あいさつ

（3）議事：第2期宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について

（4）閉会

5 議事（要旨）

上記議事内容について事務局から報告を行った。

（1）人口ビジョンについて

- ・人口ビジョンの目標数値について，日本全体の人口減少が進んでいる中で5年前よりハードルが高い条件となっているため，達成のためにはより真剣に取り組まなければならないという認識を庁内でも共有してほしい。

（2）総合戦略骨子（案）について

- ・文言の説明分は，市民目線でも分かりやすい表現の方が良い。
- ・目標を達成するために，「かせぐ」という部分が大事になる。どのような数値を設定し，そのためにどのような取組を展開するのかという流れがみえると分かりやすい。
- ・SDGsにより持続可能な社会をつくる上で，現行の施策を持続的に続けていくのは財源的に厳しいのではないか。行政だけでなく市民や企業と連携し，SDGsの取組を支援していく方向で検討していくことも必要ではないか。
- ・空き家の活用や農業支援等の金融サービスについて，宇土市と連携をして当事者の身近に情報を届けるようにできればと思う。また，ビジネスマッチングのノウハウがあるため，紹介することも可能。
- ・個人向けの観光商品開発により，アクセスが良い強みを活かして観光客の「すきま時間」を埋める体験観光が拡大できるのではないか。

- 空き家の問題については、イタリアのアルベンゴ・ディフーズという地域全体を宿泊に見立てた取組の検討はどうか。リノベーションの方法については、週末に市外から人を呼んで少しずつ行ってもらう方法がある。
- 事業承継は全国的にも大きな問題となっているので、1つの金融機関だけでなく、商工会等関係する全ての機関とのタイアップが必要である。
- Society5.0 に関するテーマが入っていないが、教育、産業面等でテーマを設定しても良いのでは。産業面の活用では、ICTやIoTを活用したい企業の情報を収集し、地方創生関係交付金でサポートしてはどうか。
- 全体的な視点として、「宇土市の立ち位置、宇土市の特徴を戦略的に活かす」という考えを持ってもらいたい。
- 熊本連携中枢都市圏の事業での中で、有明海の眺めやアサリ等宇土市が活躍できる事業を盛り込むと良い。
- 西部地区は人口減少、高齢化が進んでいる。豊かな自然を生かし住民参加でPRし、交流人口が増えればと思う。
- 高齢者が増加しているため、自動車免許の返納後も便利で住みやすいまちになるような施策を入れてほしい。

6 傍聴（※会議を公開した場合に記載してください。）

傍聴者 0人（うち記者0人）

7 次回開催日時（予定）

令和2年1月下旬頃に第3回審議会を開催予定。